

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度 弘前市みどりの審議会
開 催 年 月 日	令和6年9月26日(木)
開 始 ・ 終 了 時 刻	午後2時 から 午後3時30分 まで
開 催 場 所	弘前市緑の相談所 集会室 弘前大学文京キャンパス構内(現地視察)
議 長 等 の 氏 名	勝川健三
出 席 者	勝川健三、川村政孝、上野和俊、栳沢睦子、堀内弦
欠 席 者	幸山忠勝、斎藤嘉次雄、清野優美子、尾崎高広
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	都市整備部部长 小山内孝紀 公園緑地課課長 鳴海淳、課長補佐 成田一成、 管理係長 長谷川亘、主幹 橋場真紀子、 総括主査 海老名雄次、主査 丸井和、主事 木村敬哉
会 議 の 議 題	審議案件 (1) 弘前大学構内のメタセコイアの保存樹木の指定について (2) 保存樹木の指定解除の承認について(保存樹木第26号)
会 議 結 果	・ 審議案件1について諮問があり、審議の結果、満場一致で原案どおり承認し、答申することとなった。 ・ 審議案件2 保存樹木の指定解除を承認した。
会 議 資 料 の 名 称	案件1 「保存樹木の指定」 案件2 「保存樹木の指定解除」
会 議 内 容	審議案件 (1) 弘前大学構内のメタセコイアの保存樹木の指定について 事務局：市では、弘前市みどりの条例に基づき一定の基準を満たした樹木等について保存樹木の対象としており、現在20件の保存樹木、8件の保存樹林、6件の保存緑地を指定しております。 当該樹木は、弘前大学文京キャンパス内のメタセコイア3本で、第2代弘前大学学長郡場寛先生の学長就任記念として昭和29年及び昭和32年に植栽され、大切にされてきたものであります。 メタセコイアを新属の古生植物と発表した三木博士は、郡場先生の教え子であったため寄贈されたもので、樹木調査の結果、保存樹木の指定基準を満たしており、

導入の歴史的背景及び管理状況からみても保存樹木指定にふさわしい個体であります。
この後、現地にて対象樹木を視察のうえ樹種及び管理状況についてご説明します。

—現地視察（弘前大学構内 対象樹木視察 説明ほか）—

委員：弘前公園にあるメタセコイアとは兄弟木なのか。

事務局：ピクニック広場にある1本は、生育状況からみて同時期に植樹された可能性があります。記録は残っておりません。弘前城植物園内の個体は、そうではないものと認識しております。

—現地視察終了後、弘前市緑の相談所集会室にて再開—

委員：指定については問題ないが、看板設置にあたり、メタセコイアの科名をヒノキ科とするかスギ科とするか、どちらも間違いではないが弘前大学側と整合性を図っていただきたい。

委員：対象樹木は、郡場寛先生の第2代弘前大学学長就任記念として植樹されたものとしているが、資料によっては郡場寛先生は第3代弘前大学学長と記されているものもあるため確認すること。

議長：審議の経緯からみて原案に賛成と受け止められますがご異議ございませんか。

—異議なし—

議長：ご異議なしと認め、本案は原案どおり決し、答申することといたします。

審議案件

(2) 保存樹木の指定解除の承認について(保存樹木第26号)

事務局：対象の樹木は、平成9年7月23日に指定した、東北女

	<p>子大学フジとなります。市内最大の藤棚面積を誇って りましたが、平成 19 年頃から腐朽菌であるヒラタケの 害によって樹勢が著しく弱まり、枯損してしまったた め、指定解除の申請があったものです。</p> <p>議 長：ご質問あるいはご意見等ないようですので、原案に賛 成と受け止められますがご異議ございませんか。</p> <p>—異議なし—</p> <p>議 長：ご異議なしと認め、本案は原案どおり決めます。</p>
その他必要事項	会議 公開